

## 生涯

苔むした水の枯れた井戸に  
スズのカップが置いてあったことを  
知っているのは記憶の中だけ  
なりやんだ　その後  
のこる音を  
あの人は何回か聞いただろう  
それは胸の内で鳴っていた  
よく言い返したので  
その時はさみしい音がしたろうな  
と、考えてたら  
ふと笑顔がうかんだ  
淋しい音の上に  
小さく楽しいよい音が鳴ったかな

N  
・  
U